

## 仮想アースの効果 1

### 1. はじめに

仮想アースの接続対象は、個々のアース回路の設計思想や回路の詳細が不明のため、試行錯誤にならざるを得ませんでした。この 3 年間のそういった一連の報告やその他の試行錯誤の経験を整理してみます。なお、これまでに使用した仮想アースと接続アースケーブルは次のようなものです。

仮想アース：

光城精工 Crystal E Crystal E June  
Crystal Ep Crystal EpL  
自作仮想アース各種

アースケーブル：

光城精工 Crystal E 付属 Y ラグアースケーブル  
Crystal E 付属 RCA アースケーブル  
Clone2  
LAN 端子専用アースケーブル  
USB 端子専用アースケーブル  
インフラノイズ アースアキュライザーEA-1  
自作 Western 単線

### 2. 仮想アースの効果

まず、顕著な効果があったのは、筐体にアース端子がある場合で、ZANDEN のフォノイコ Model 120、DAC プリの Brooklyn DAC+、Leak Pont1、および EMT981 です。

同様に顕著な効果があったのは、筐体にアース端子がありませんが、高周波ノイズの塊みみたいな PC とスイッチングハブのようなもので、光城精工の USB 端子あるいは LAN 端子専用のアースケーブルで仮想アースを繋いだ場合です。

筐体にアース端子がないものとして、Marantz SA11-S2 や DMR-UBZ1 や DA-3000 では、RCA 空き端子に光城精工の RCA 端子専用のアースケーブルで仮想アースを繋いだ場合も効果がありましたが、効果の程度は、PC とスイッチングハブの場合に及びませんでした。これらは機器自体に一定のノイズ処理がなされている可能性があります。

上流から下流の比較では、Garad401 のフォノケーブルのアース線、MySonic のトランス STAGE 1030 のアース端子、Leak Pont1 のアース端子の比較を行いました。

下流の方ほど効果が大きくなりました。

同様に、LP-12 のアンバランスフォノケーブルのアース線と ZANDEN のフォノイコのアース端子の比較、ThorensTD124 のアンバランスフォノケーブルのアース線と ZANDEN のフォノイコのアース端子の比較でも、下流のフォノイコのアース端子の効果が大きかったのですが、両方とも繋ぐことにしました。

Garad401 と ThorensTD124 はシンクロナスモーターですし、LP-12 の DC モーターはデジタル制御ですが、ノイズ処理がきちんと行われている可能性があります。アームの金属部分では、LP-12 の GRANZ のアームや Garad401 の FR64S では効果があるとは言い難いです。同様に LP-12 の外部電源の筐体のネジもやってみましたが、効果があるとは言い難いです。これらは、接続箇所から先の導通がどうなっているかは不明です。

最後に、スピーカー入力端子のマイナス側も効果が大きい箇所です。パイワイアリングにしていますので、現在はスピーカーアキュライザーの出力側に自作の仮想アースを繋いでいますが、次の目標としては、ここに正規品を導入してみたいところです。

### 3. 接続アースケーブルの効果

接続アースケーブルは上記のようなものです。

効果としては、自作 Western 単線、Crystal E 付属ケーブル、Clone2、アースアキュライザーの順に大きくなり、特にアースアキュライザーはアース線を超えたようなパフォーマンスを示しますが、アース線で効果が変わることの理由はよく分かっていません。また、アースアキュライザーをインフラノイズ非売品の AV ドーナッツに通すと仮想アースの効果のさらなる増強効果がありました。

### 4. まとめ

最初に述べましたように、仮想アースの接続対象の個々のアース回路の設計思想や回路の詳細やノイズ環境、とりわけグラウンドノイズがどうなっているかが不明のため、仮想アースの活用手法について確定的なことは言えず、試行錯誤に終わることはやむを得ないという結論です。

個人的には、オーディオ機器でない PC やスイッチングハブで大きな成果をあげ、配信音源の音質向上に役立ったことが予想外の成果だと思っています。

以上

